

TOPIC

本学のお仕事体験プロジェクトについて

FUKUSHIMA medical education challenge プロジェクト始動



福島県立医科大学では、将来の医療人材育成を目指し、県内一体となって医療体験プログラムを積極的に実施しています。

この取り組みは、子どもたちが医師や看護師などの仕事に直接触れることで、医療をより身近に感じ、興味を深めてもらうことを目的としています。手術シミュレーションや高度医療機器の見学など多彩な体験を通じて、将来

のキャリア選択の参考にしてもらいます。

この体験をきっかけに多くの若者が福島県の医療を支える人材となり、さらに参加者自身が健康について考える一助となることを期待しています。

また、本学の学生サークルのPR_Labやぬいぐるみ病院などが開催するお仕事体験企画にも協力してまいります。

県内一体の取組で
自分の町は自分で守る!
医療人材育成へ。

主な対象は、
幼稚園児、小・中・高校生
県立高等学校普通科に
おける特色あるコース制
(教育プログラム)の選択者

告知

本学各部門合同で実施予定。
医師、看護師お仕事体験実施予定。

① **アオウゼお仕事体験** ※要抽選申込

日程: 8月3日(日)

場所: 福島市アクティブシニア
センター・アオウゼ

② **ふくしまSHOWカレーまつり**

日程: 9月13日(土) 14日(日)
15日(祝・月)

場所: 四季の里

③ **SDGs未来博**

日程: 9月20日(土) 21日(日)

場所: ビッグパレットふくしま

① INFORMATION

医大生と「お医者さん体験&熱中症対策」イベント開催 クイズやロールプレイングで楽しく熱中症を学ぶ新コーナーも!

福島県立医科大学の学生ボランティアサークル「ぬいぐるみ病院」は、7月6日(日)に福島市の「こむこむ館」で、子どもたちが楽しく医療を学べる体験イベント「医大生といっしょに医療を学ぼう!」を開催します。

今年は、新たに「熱中症対策コーナー」を設置し、クイズやロールプレイを通して子どもたちが主体的に健康について学べる内容になっています。

また、毎回恒例のぬいぐるみを使ったお医者さんのお仕事体験や処方箋作りのコーナーなど

も用意されています。

この機会にぜひご家族でご参加ください。

今週
日曜日
開催

開催概要

日時 2025年7月6日(日)
10:00~16:00(最終受付15:30)

対象 4歳~中学生まで
(未就学児は保護者同伴)

場所 こむこむ館 2階 交流コーナー

参加費 無料 申込不要 ※当日、直接会場へお越しください。



武汉大学とMOU(覚書)を再締結しました

福島県立医科大学は、令和7年6月12日(木)、中国の武汉大学と学術交流に関する覚書(MOU)を再締結しました。1999年に最初の協定を締結して以来、本学にとって最も古くからの提携校である武汉大学とは、25年以上にわたり学生や研究者の相互派遣などを通じて活発な交流を続けてまいりました。

東日本大震災と福島第一原発事故という未曾有の困難に直面した際も、また、新型コロナウイルス感染症の拡大により交流が制限された際にも、両大学の関係は揺らぐことなく、支援物資を贈り合うなど温かい友情を育んできました。この度の再締結は、これまでの両大学の固い絆を再確認する貴重な機会となりました。

調印式はオンライン形式で執り行われ、本学の竹之下誠一理事長兼学長と、武汉大学の袁玉峰

副学長が覚書に署名しました。

竹之下誠一理事長兼学長は、「“遠くの親戚より近くの隣人”という言葉のとおり、困難な時期における温かいご支援に改めて深く感謝申し上げます」と謝意を述べました。また、「“ピンチをチャンスに。変化を進化へ。”というモットーの下、学生たちには国際的な視野を持って、地域に根差した研究や課題解決に取り組むことを期待しています」と、今後の交流への思いを語りました。

武汉大学の袁玉峰副学長は、「医科学研究から臨床実践に至るまで、あらゆる分野で交流を進めていきたい」と応じられ、今後のさらなる協力関係の発展に期待を寄せられました。

今回の協定再締結を機に、両大学の学術・人的交流を一層活性化させ、医学・医療の発展に貢献する新たな歴史を共に刻んでまいります。



Report

消防車がやってきた! 病院の子どもたちを励ます消防訓練 ～はしご車で子どもたちにエールを!～

令和7年6月21日(土)、本学附属病院のみらい棟小児病棟にて、地域貢献の一環として福島南消防署の皆様のお申し出により、火災を想定した119番通報やはしご車が出動する消防訓練が、入院中の子どもたちを励ます慰問も兼ねて行われました。令和5年度、令和6年度に引き続き3回目の実施となります。

訓練は「小児病棟で火事が起きた!」という設定で行われ、福島南消防署から本物のはしご車とタンク車が1台ずつ駆けつけました。

その後、病棟の窓の外に、はしご車の先端にあるバスケット(かご)がゆっくりと近づいてきました。中に乗った消防隊員の方が、無線を使って

窓越しに子どもたちとクイズを楽しみながら交流し、「がんばってね!」と温かいエールを送ってくれました。

窓のすぐそばまで来た迫力満点のはしご車に、子どもたちは大喜び! みんな笑顔で手を振っていました。大変な入院生活のなかですが、青空の下で活躍する消防隊員のみなさんの頼もしい姿から、たくさんの元気と勇気をもらえたようでした。

この素敵な時間をつくってくださった福島南消防署のみなさん、ご協力いただいたすべての方々へ、心から感謝いたします。本当にありがとうございました。



INFORMATION

夏休みアオウゼ公開講座特別企画「蝶から見える不思議な世界」

福島県は美しい自然と豊かな生態系を有し、数多くの蝶が分布することが知られています。

本講座では、福島県に生息する蝶を中心に、基礎的な蝶学を楽しくお話しします。

また、福島県内に生息する貴重な蝶や、県内では絶滅してしまった種の標本、さらに世界各地の豪華な蝶の標本をの数々を会場で紹介・展示します。

色とりどりの蝶たちが織りなす幻想的な世界を、ぜひお楽しみください。

- 日時 8月7日(木) 13:30～15:00
- 会場 アオウゼ大活動室1～3
- 講師 福島県野生動植物保護アドバイザー 渡辺浩 さん
- 定員 80名【予約先着順】
- 申込期間 7月21日(月)～8月5日(火)
- お申し込み・お問い合わせ 福島市アクティブシニアセンター・アオウゼ(TEL:024-533-2344)

◎会場にて8月3日(日)から「蝶の標本」を一部先行展示!

なお、附属学術情報センター展示館展示室にて、アートセラピーの取組としても蝶の標本を展示しております。

展示室初の公開講座!

夏休みの自由研究にも
おすすめです!

